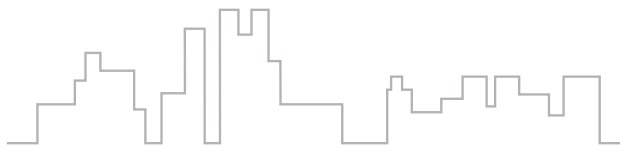


Interim Business Report

第75期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日



大和小田急建設

 Daiwa House Group®



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第75期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、復興関連需要など一部では緩やかな回復が見られたものの、海外経済の減速や円高基調の継続などから、輸出や生産活動が弱含みで推移し、景気回復の動きに停滞感が強まる状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業であります建設業界におきましては、公共投資や民間設備投資については、復興関連需要により緩やかな回復傾向とはいえ依然低水準で推移しており、受注環境は厳しい状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、徹底した顧客志向と利益へのこだわりをもって、受注拡大、業務改善に取り組んでおります。受注拡大につきましては、お客様とのリレーションをこれまで以上に強化し、信頼関係を構築・深化させ、きめ細かな提案とサービスの提供により特命受注をはかっております。また、分譲マンションの専門的対応、不動産情報の集約・一元化、復興需要への対応強化、大和ハウスグループ、小田急グループへの提案営業などにより、受注拡大を目指しております。業務改善につきましては、大和ハウスグループとの共同調達などにより、コスト削減をはかっております。

この結果、前年の震災による工事受注、工事進捗の影響を受けたことから、当中間期の受注工事高につきましては、前年同期比14.3%増の256億9千8百万円となりました。売上高につきましては、前年同期比10.7%増の274億4千7百万円となりました。利益につきましては、不動産事業において利益が増加したものの、営業損失として7億7千2百万円（前年同期は6億3千3百万円の営業損失）、経常損失として7億6千4百万円（前年同期は6億3千2百万円の経常損失）、中間純損失として6億3千5百万円（前年同期は4億2千9百万円の中間純損失）となりました。

セグメント別の実績は次のとおりであります。

（建築事業）

売上高につきましては、震災による減少からの回復などにより、前年同期比15.8%増の219億8百万円となりました。営業損益につきましては、熾烈な受注競争、労務不足による労務費高騰などにより、工事の採算性が低下したことから、9億8百万円の営業損失（前年同期は8億2千9百万円の営業損失）となりました。

（土木事業）

売上高につきましては、期首手持ち工事高の減少などにより、前年同期比14.8%減の46億3百万円となりました。営業損益につきましては、2億3千5百万円の営業損失（前年同期は5千3百万円の営業損失）となりました。

（不動産事業）

売上高につきましては、平成24年7月20日に完成した「ダイワロイネットホテル札幌すすきの」の賃貸収入、自社施工の分譲マンション売上が増加したことにより、前年同期比98.5%増の9億3千6百万円となりました。営業損益につきましては、3億7千2百万円の営業利益（前年同期は2億4千9百万円の営業利益）となりました。

今後も、社名にある「大和」「小田急」両グループのブランド力を高めるため、当社独自のコアコンピタンスの創出に取り組み、市場環境の変化に柔軟に対応するとともに、大和ハウスグループの一員として、グループシンボル「エンドレスハート」のもと「共創共生」を基本姿勢に、「人、街、暮らしの価値共創グループ」の一員として会社の発展に努力してまいります所存であります。株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成24年11月



代表取締役社長

金久保 篤司



連結貸借対照表 (要旨)

(百万円)

科目	当中間期末	前期末
資産の部		
流動資産	27,449	33,027
固定資産	21,406	21,325
有形固定資産	18,124	17,364
無形固定資産	109	151
投資その他の資産	3,172	3,809
資産合計	48,855	54,353
負債の部		
流動負債	32,215	35,947
固定負債	6,659	7,077
負債合計	38,875	43,024
純資産の部		
株主資本	9,956	10,700
その他の包括利益累計額	24	628
純資産合計	9,980	11,328
負債純資産合計	48,855	54,353

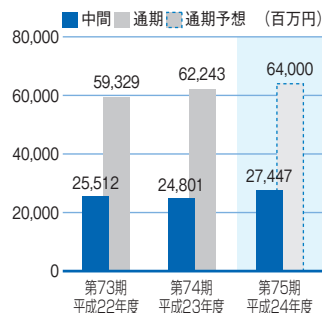
連結損益計算書 (要旨)

(百万円)

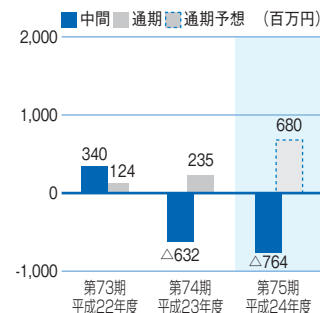
科目	当中間期	前中間期
売上高	27,447	24,801
売上原価	26,241	23,403
売上総利益	1,205	1,398
販売費及び一般管理費	1,977	2,031
営業利益	△772	△633
営業外収益	86	78
営業外費用	79	76
経常利益	△764	△632
特別利益	4	0
特別損失	159	66
税金等調整前中間純利益	△920	△697
法人税、住民税及び事業税	22	26
法人税等調整額	△307	△294
中間純利益	△635	△429

業績の推移

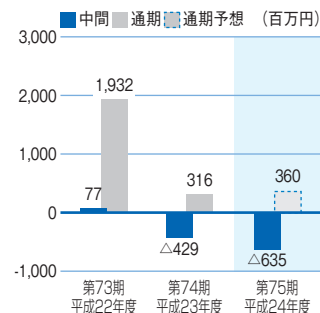
売上高



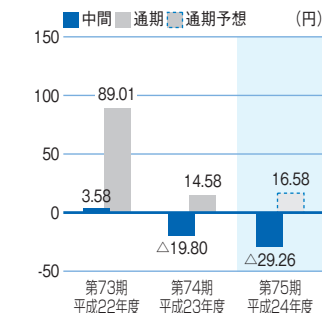
経常利益



中間 (当期) 純利益



1株当たり中間 (当期) 純利益



会社の概要

- 会社名 大和小田急建設株式会社
- 本社所在地 〒160-8377
東京都新宿区西新宿四丁目32番22号
- 本社電話番号 03-3376-3101
- 創業 明治2年10月1日
- 会社設立 昭和14年1月26日
- 資本金 1,086百万円（東証第一部上場）
- 代表者 代表取締役社長 金久保 篤司
- 従業員数 769名（平成24年9月30日現在）
- 主要な事業所 本社 横浜支店 名古屋支店 大阪支店 東北支店
- 役員（平成24年9月30日現在）

取締役および監査役

代表取締役社長	金久保篤司
取締役専務執行役員	岩佐誠
取締役常務執行役員	藤謙一郎
取締役執行役員	安井正春
取締役執行役員	高橋年秋
取締役執行役員	島敏幸
取締役執行役員	岩井茂夫
取締役執行役員	鈴木康夫
取締役	山木利満
取締役	小川哲司
常勤監査役	青木重道
常勤監査役	中村剛
監査役	寺田良造
監査役	後藤克彦

執行役員

執行役員	進藤敏則
執行役員	三浦隆一
執行役員	石橋俊明
執行役員	野田伸一

大和小田急建設株式会社

東京都新宿区西新宿四丁目32番22号 〒160-8377 Tel 03-3376-3101 Fax 03-3376-3100

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-24)第1310号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(11)第1723号

www.daiwaodakyu.co.jp

「エンドレスハート」は、大和ハウスグループの経営のシンボルであり、日本およびその他の国における登録商標または商標です。© Copyright 2012 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD. All rights reserved.

株式インフォメーション

■株式の状況（平成24年9月30日現在）

発行可能株式総数	43,200,000株
発行済株式の総数	21,720,000株
株主数	2,810名
大株主（上位5名）	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
大和ハウス工業株式会社	7,168,000	33.0
小田急電鉄株式会社	2,360,255	10.9
小田急不動産株式会社	600,000	2.8
三井住友信託銀行株式会社	537,500	2.5
株式会社三井住友銀行	516,700	2.4

（注）持株比率は、自己株式（10,493株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 （郵便物送付先）	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	☎ 0120-176-417
<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。>	
	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（インターネット） ホームページURL	☎ 0120-782-031 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し、アドレスは次のとおりであります。 http://www.daiwaodakyu.co.jp/koukoku/

森林育成紙™使用 私たち大和ハウスグループは、「共創共生」の基本姿勢のもと、健全な森林育成のために、当冊子には森林育成紙™を使用しています。